

- 株式会社アドヴィックスは、自動車産業において100年に1度と言われるCASE対応、脱炭素社会に向けた自動車の電動化対応、新型コロナウイルス感染症による影響など、大きな事業環境の変化に直面している。事業基盤の整備と競争力強化に向けて、CASE対応新製品等の環境や安全に貢献する製品の投入は極めて重要である。
- このような状況の下、自動運転に対応し、燃費向上・電動車普及を通してカーボンニュートラルに資する新型回生協調ブレーキAHB-Gの拡販に向けた生産設備投資を行い、販売量を増やしていくことで、ポストコロナに向けた競争力の強化、今後の事業成長を図る。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和4年（2022年）4月8日～
令和9年（2027年）3月31日

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度のROAが、基準年度と比較して、5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

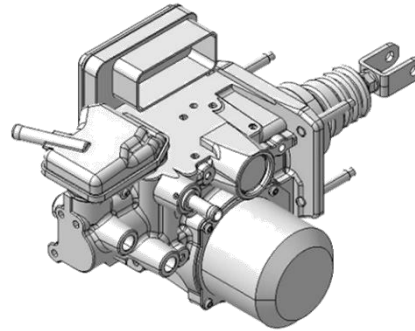
計画終了年度の新製品の売上高が、全体の売上高の1%以上となることを目標とする。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

<取組の内容のイメージ>

AHB-Gの特徴



従来品との比較

回生量増加
(燃費・電費向上、CO2削減)

応答性・車両安定性向上
(自動運転、電動化)

小型・軽量化
(CO2削減、コスト削減)

CASE・カーボンニュートラルに貢献し
従来よりも性能を高めた新型回生協調ブレーキ（AHB-G）の
拡販で競争力、収益力を高めていく。

電動車普及

自動運転対応

燃費・電費
向上